

《Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果》

【単位認定について】

(1) 次の「単位認定」の状況表を例に、単位認定の方法と評価の実際を記載して下さい。

平成20年度 食物栄養科の単位認定の状況

(平成20年度卒業生)

種別	学年	授業科目名	授業形体	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
						本試	再試等	計	優	良	可	不可
教養	1年	キリスト教概論	講義	107	出席状況、レポート提出	95.3	4.7	100	12.1	86.0	1.9	0
教養	1年	美術入門	講義	2	作品提出	100	0	100	0	100	0	0
教養	1年	行動の心理	講義	4	期末の筆記試験	100	0	100	100	0	0	0
教養	1年	くらしと法律	講義	0	期末の筆記試験	0	0	0	0	0	0	0
教養	1年	異文化理解	講義	0	レポート提出	0	0	0	0	0	0	0
教養	1年	環境科学	講義	5	期末の筆記試験、出席状況	100	0	100	100	0	0	0
教養	1年	生物学	講義	101	期末の筆記試験と出席状況	100	0	100	25.7	65.3	8.9	0
教養	1年	基礎化学	講義	107	期末の筆記試験と出席状況	100	0	100	99.1	0.9	0	0
教養	1年	統計の基礎	講義	10	期末の筆記試験と出席状況	100	0	100	70	30	0	0

種別	学年	授業科目名	授業形体	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
						本試	再試等	計	優	良	可	不可
教養	1年	情報処理入門	演習	104	期末の筆記試験と出席状況	100	0	100	73.1	26.9	0	0
教養	1年	プラクティカルコミュニケーション	演習	107	英語の発表、会話、試験、出席状況	100	0	100	86.9	13.1	0	0
教養	1年	コミュニケーションインライティング	演習	107	出席、態度、小テスト、期末の筆記試験	100	0	100	69.2	30.8	0	0
教養	1年	海外英語研修	演習	0	小テスト、研修レポート	0	0	0	0	0	0	0
教養	1年	健康と運動Ⅰ	演習	0	出席状況と授業態度、筆記試験	0	0	0	0	0	0	0
教養	1年	健康と運動Ⅱ	演習	58	出席状況と授業態度、筆記試験	100	0	100	87.9	8.6	3.4	0
専門	1年	解剖生理学	講義	107	出席状況、期末の筆記試験	99.1	0.9	100	36.4	61.7	1.9	0
専門	1年	食品科学	講義	107	出席状況、受講態度、期末の筆記試験	95.3	4.7	100	26.2	63.6	10.3	0
専門	1年	食品科学実験	実験	107	出席状況、受講態度、期末の筆記試験	68.2	31.8	100	9.3	46.7	43.9	0

種別	学年	授業科目名	授業形体	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
						本試	再試等	計	優	良	可	不可
専門	1年	食品衛生学	講義	107	出席状況、受講態度、期末の筆記試験	100	0	100	86.9	13.1	0	0
専門	1年	食品衛生学実験	実験	107	出席状況、受講態度、期末の筆記試験	100	0	100	94.4	5.6	0	0
専門	1年	基礎栄養学	講義	107	出席状況、期末の筆記試験	97.2	2.8	100	48.6	47.7	3.7	0
専門	1年	応用栄養学 I	講義	107	出席状況、期末の筆記試験	100	0	100	51.4	44.9	3.7	0
専門	1年	栄養指導論	講義	107	出席状況、受講態度、期末の筆記試験	100	0	100	20.6	68.2	11.2	0
専門	1年	栄養教育情報処理演習	演習	107	出席状況、受講態度、期末の筆記試験	100	0	100	24.3	72.0	3.7	0
専門	1年	給食管理	講義	107	レポート提出、期末の筆記試験	93.5	6.5	100	19.6	59.8	20.6	0
専門	1年	給食管理実習 I	実習	107	出席状況、実習態度、レポート提出、期末の筆記試験	92.5	7.5	100	2.8	59.8	37.4	0

種別	学年	授業科目名	授業形体	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
						本試	再試等	計	優	良	可	不可
専門	1年	調理科学	講義	107	出席状況、期末の筆記試験	86.9	13.1	100	19.6	39.3	41.1	0
専門	1年	調理科学実習	実習	107		92.5	0.0	100	20.6	68.2	11.2	0
専門	1年	基礎調理実習	実習	107	出席状況、レポート提出	100	0	100	80.4	18.7	0.9	0
専門	1年	専門調理実習	実習	107	出席状況、レポート提出	100	0	100	4.7	87.9	7.5	0
専門	1年	専門基礎演習	演習	107		100	0	100	81.3	18.7	0	0
専門	1年	食事計画論	講義	107	レポート重視	94.4	5.6	100	43.0	49.5	7.5	0
専門	1年	健康づくり論	講義	107	出席状況、レポート、期末の筆記試験	100	0	100	74.8	25.2	0	0
専門	1年	フットスペシャリスト論	講義	41	出席状況、受講態度、期末の筆記試験	100	0	100	58.5	36.6	4.9	0
専門	1年	教育原理	講義	31	出席状況、小テスト、期末のレポート課題	96.8	3.2	100	71.0	25.8	3.2	0
専門	1年	教育心理学	講義	32	出席状況、期末の筆記試験	100	0	100	56	41	3	0

種別	学年	授業科目名	授業形体	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
						本試	再試等	計	優	良	可	不可
専門	1年	教育制度論	講義	32	期末の筆記試験	96.9	3.1	100	65.6	34.4	0	0
専門	1年	教育相談	講義	31	出席状況、受講態度、期末の筆記試験	100	0	100	48.4	51.6	0	0
教養	2年	日本国憲法	講義	25	期末の筆記試験	100	0	100	68	32	0	0
教養	2年	国語と表現	講義	0	筆記試験と作品	0	0	0	0	0	0	0
教養	2年	音楽	講義	2	出席状況	100	0	100	100	0	0	0
教養	2年	国際英語 I	演習	1	出席状況、授業態度	100	0	100	0	100	0	0
教養	2年	国際英語 II	演習	2	総合評価	100	0	100	100	0	0	0
教養	2年	基礎中国語	演習	2	出席状況、筆記試験	100	0	100	100	0	0	0
教養	2年	基礎韓国語	演習	3	出席状況、中間・期末の筆記試験	100	0	100	100	0	0	0
教養	2年	体育学	演習	24	出席状況、授業態度、期末の筆記試験	95.8	4.2	100	33.3	45.8	20.8	0
専門	2年	公衆衛生学	講義	106	出席状況、授業態度、期末の筆記試験	100	0	100	80.2	19.8	0	0
専門	2年	社会福祉概論	講義	105	レポート、期末の筆記試験	92.4	7.6	100	45.7	37.1	17.1	0

種別	学年	授業科目名	授業形体	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
						本試	再試等	計	優	良	可	不可
専門	2年	栄養生理学実験	実験	107	出席状況、受講態度、レポート提出	100	0	100	98.1	1.9	0	0
専門	2年	生化学	講義	107	出席状況、期末の筆記試験	100	0	100	100	0	0	0
専門	2年	生化学実験	実験	106	出席状況、実験レポート	100	0	100	98.1	0.9	0.9	0
専門	2年	人間環境学	講義	107	出席状況、期末の筆記試験	96.3	3.7	100	23.4	62.6	14.0	0
専門	2年	健康運動論	講義	106	出席状況、レポート、期末の筆記試験	100	0	100	26.4	73.6	0	0
専門	2年	食品環境学	講義	106	出席状況、期末の筆記試験	98.1	1.9	100	42.5	49.1	8.5	0
専門	2年	応用栄養学実習Ⅰ	実習	107	出席状況、レポート、提出物	100	0	100	5.6	48.6	45.8	0
専門	2年	応用栄養学実習Ⅱ	実習	105	出席状況、実習態度、レポート提出、期末の筆記試験	100	0	100	0	55.2	45.7	0

種別	学年	授業科目名	授業形体	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
						本試	再試等	計	優	良	可	不可
専門	2年	臨床栄養学概論	講義	107	出席状況、受講態度、期末の筆記試験	100	0	100	15.9	44.9	39.3	0
専門	2年	臨床栄養学実習	実習	107	出席状況、実習態度、レポート提出、期末の筆記試験	100	0	100	7.5	57.9	34.6	0
専門	2年	臨床医学入門	講義	107	出席状況、受講態度、レポート提出	100	0	100	58.9	38.3	2.8	0
専門	2年	栄養教育論	講義	106	出席状況、レポート	100	0	100	21.7	71.7	6.6	0
専門	2年	栄養指導論実習	実習	106	出席状況、実習態度、実習レポート提出、期末の筆記試験	88.7	11.3	100	4.7	62.3	33.0	0
専門	2年	公衆栄養学概論	講義	106	出席状況、期末の筆記試験、提出物	100	0	100	59.4	34.9	5.7	0
専門	2年	学外給食実習 I	実習	106	実習先評価票、レポート、出席状況	100	0	100	54.7	43.4	1.9	0
専門	2年	食文化論	講義	106	出席状況、授業態度、期末の筆記試験	97.2	2.8	100	31.1	43.4	25.5	0

種別	学年	授業科目名	授業形体	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
						本試	再試等	計	優	良	可	不可
専門	2年	応用栄養学Ⅱ	講義	107	出席状況、レポート、期末の筆記試験	100	0	100	60.7	34.6	4.7	0
専門	2年	薬と食事	講義	12	出席状況、受講態度、期末の筆記試験	100	0	100	66.7	33.3	0.0	0
専門	2年	食品流通論	講義	39	出席状況、受講態度、発表活動、レポート、期末試験	100	0	100	38.5	41.0	20.5	0
専門	2年	食の美学	講義	38	筆記試験とフィギア作品	100	0	100	44.7	36.8	18.4	0
専門	2年	食品評価論	演習	40	出席状況、受講態度、期末の筆記試験	100	0	100	67.5	27.5	5	0
専門	2年	食品鑑別論	演習	39	出席状況、授業態度、期末の筆記試験	100	0	100	23.1	53.8	23.1	0
専門	2年	児童の栄養管理と指導	講義	23	出席状況、レポート、実践演習	100	0	100	43.5	56.5	0	0
専門	2年	教職総論	講義	23	提出課題	100	0	100	43.5	56.5	0	0
専門	2年	教育課程及び方法	講義	23		100	0	100	78.3	17.4	4.3	0

種別	学年	授業科目名	授業形体	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
						本試	再試等	計	優	良	可	不可
専門	2年	道徳教育の研究	講義	23	試験（またはレポート）、出席状況	100	0	100	95.7	4.3	0	0
専門	2年	特別活動の研究	講義	23	出席状況、レポート、筆記試験	100	0	100	87.0	13.0	0	0
専門	2年	生徒指導の研究	講義	23	筆記試験	100	0	100	21.7	65.2	0	0
専門	2年	教育演習	演習	23	出席状況、レポート	100	0	100	17.4	78.3	0	0
専門	2年	栄養教育実習	演習	23	実習先評価、学内オリエンテーション	100	0	100	82.6	17.4	0	0

平成20年度 幼児教育科の単位認定の状況

(平成20年度卒業生)

種別	学年	授業科目名	授業形体	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
						本試	再試等	計	優	良	可	不可
教養	1年	キリスト教概論	講義	167	出席状況	97.6	2.4	100	9.6	83.8	6.6	0
教養	1年	美術入門	講義	24	レポート提出、作品評価	95.8	4.2	100	29.2	66.7	4.2	0
教養	1年	音楽入門Ⅰ	演習	86	ピアノ実技試験	100	0	100	41.9	58.1	0	0
教養	1年	音楽入門Ⅱ	演習	84	ピアノ実技試験	100	0	100	63.1	35.7	1.2	0
教養	1年	行動の心理	講義	3	レポート、試験	100	0	100	100	0	0	0
教養	1年	暮らしと経済	講義	0	筆記試験、レポート	0	0	0	0	0	0	0
教養	1年	暮らしと法律	講義	4	期末の筆記試験	100	0	100	100	0	0	0
教養	1年	異文化理解	講義	3	出席状況、レポート提出	100	0	100	100	0	0	0
教養	1年	生物の基礎	講義	2	出席状況、授業態度、期末試験	100	0	100	100	0	0	0
教養	1年	環境の科学	講義	1	出席状況、授業態度、期末試験	100	0	100	100	0	0	0
教養	1年	情報処理入門	演習	167	出席状況、提出課題、実技試験	100	0	100	82.6	16.8	0.6	0
教養	1年	プラクティカルコミュニケーション	演習	166	英語の発表、会話、試験、出席状況	100	0	100	36.7	62.0	1.2	0
教養	1年	コミュニケーションインライティング	演習	167	レポート提出、出席状況、期末の筆記試験	95.8	4.19	100	60.5	35.3	3.6	0.6

種別	学年	授業科目名	授業形体	履修人員	主な単位認定の方 法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
						本試	再試等	計	優	良	可	不可
教養	1年	海外英語研修	演習	2	小テスト、研修レ ポート	100	0	100	100	0	0	0
教養	1年	基礎力 ^{アップ}	演習	165	出席状況、授業態 度、レポート課題	100	0	100	92.1	6.7	1.2	0
教養	1年	体育学	演習	167	出席状況、授業態 度、レポート課題	97.6	2.4	100	21.0	62.9	16.2	0
専門	1年	教育原理	講義	167	ミニレポート、レ ポート試験	98.8	1.2	100	26.3	69.5	4.2	0
専門	1年	発達心理学	講義	167	出席状況、期末の 筆記試験	100	0	100	35.9	57.5	6.6	0
専門	1年	保育内容総論	演習	164	出席状況、課題提 出、期末の筆記試験	100	0	100	82.3	16.5	1.2	0
専門	1年	保育内容の指導 法 健康	演習	164	出席状況、授業態 度、課題提出、期 末の筆記試験	98.8	1.2	100	62.8	29.3	7.9	0
専門	1年	保育内容の指導 法 人間関係	演習	164	出席状況、ミニレ ポート、期末の筆 記試験	97.0	3.0	100	7.9	76.2	15.9	0
専門	1年	保育内容の指導 法 環境	演習	167	出席状況、ミニレ ポート、期末の筆 記試験	98.8	1.2	100	16.2	77.8	6.0	0

種別	学年	授業科目名	授業形体	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
						本試	再試等	計	優	良	可	不可
専門	1年	保育内容の指導 法 言葉	演習	164	出席状況、期末の 筆記試験	99.4	0.6	100	27.4	69.5	3.0	0
専門	1年	保育内容の指導 法 表現	演習	164	出席状況、作品、 試験	100	0	100	27.4	72.0	0.6	0
専門	1年	音楽基礎表現	演習	167	歌とピアノの実技 試験	100	0	100	67.1	31.1	1.8	0
専門	1年	造形基礎平面	演習	167	出席状況、提出作 品	98.2	1.8	100	42.5	53.9	3.6	0
専門	1年	教育情報処理演 習	演習	164	出席状況、提出課 題	99.4	0.6	100	80.5	18.9	0.6	0
専門	1年	社会福祉 I	講義	167	期末の筆記試験	74.9	25.1	100	25.7	37.7	36.5	0
専門	1年	保育原理 I	講義	167	レポート提出、期 末の筆記試験	93.4	6.6	100	20.4	48.5	31.1	0
専門	1年	保育原理 II	講義	164	レポート提出、期 末の筆記試験	97.6	2.4	100	28.7	60.4	11.0	0
専門	1年	小児保健 I	講義	166	筆記試験	100	0	100	2.4	95.2	2.4	0
専門	1年	小児保健 II	講義	163	筆記試験	99.4	0.6	100	1.2	97.5	1.2	0
専門	1年	教職総論	講義	167	レポート提出	100	0	100	25.7	58.7	15.6	0
専門	1年	幼児教職論	講義	164	出席状況、レポー ト提出	98.8	1.2	100	11.6	86.0	2.4	0
専門	1年	教育制度論	講義	167	期末の筆記試験	97.6	2.4	100	48.5	44.9	6.6	0

種別	学年	授業科目名	授業形体	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
						本試	再試等	計	優	良	可	不可
専門	1年	教育課程総論	講義	167	課題提出、発表内容	100	0	100	68.9	29.9	1.2	0
専門	1年	幼児教育演習	演習	164	レポート提出	93.3	6.7	100	86.6	12.8	0.6	0
専門	1年	音楽表現法	演習	164	ピアノ実技試験	97.0	3.0	100	45.7	51.2	3.0	0
専門	1年	造形基礎立体	演習	164	出席状況、作品評価	98.8	1.2	100	54.9	43.3	1.8	0
専門	1年	児童福祉 I	講義	167	期末の筆記試験	98.2	1.8	100	13.8	71.3	15.0	0
専門	1年	児童の健全育成と福祉	演習	32	期末の筆記試験	96.9	3.1	100	53.1	43.8	3.1	0
専門	1年	保育内容の指導法 遊びと表現	演習	164	出席状況、受講態度、作品発表、期末の筆記試験	98.2	1.8	100	23.2	66.5	9.8	0.6
専門	1年	障害児保育	演習	167	レポート提出	100	0	100	73.1	26.3	0.6	0
専門	1年	専門特別基礎演習	演習	110	出席状況、受講態度、レポート、実技試験 など	99.1	0.9	100	60.9	37.3	1.8	0
専門	1年	保育実習 I	実習	162	出席状況、実習態度、実習ノート、レポート	100	0	100	34.6	65.4	0.0	0
教養	2年	日本国憲法	講義	162	期末の筆記試験	98.1	1.9	100	32.7	56.8	10.5	0
教養	2年	化学の基礎	講義	0	出席状況、筆記試験	0	0	0	0	0	0	0
教養	2年	統計の基礎	講義	11	出席状況、提出課題、実技試験	100	0	100	100	0	0	0

種別	学年	授業科目名	授業形体	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
						本試	再試等	計	優	良	可	不可
教養	2年	国際英語Ⅰ	演習	0	出席状況、受講態度	0	0	0	0	0	0	0
教養	2年	国際英語Ⅱ	演習	1	出席状況、受講態度	100	0	100	100	0	0	0
教養	2年	基礎中国語	演習	3	出席状況、筆記試験	100	0	100	100	0	0	0
教養	2年	基礎韓国語	演習	14	発表、小テスト	100	0	100	28.6	64.3	7.1	0
専門	2年	教育心理学	講義	162	出席状況、期末の 筆記試験	98.8	1.2	100	71.0	22.2	6.8	0
専門	2年	幼児体育Ⅰ	演習	162	出席状況、提出課題	100	0	100	84.0	14.8	1.2	0
専門	2年	養護原理	講義	162	出席状況	100	0	100	93.2	6.8	0	0
専門	2年	専門特別演習	演習	162	出席状況、受講態 度、レポート、実 技試験 など	100	0	100	82.7	16.7	0.6	0
専門	2年	幼児教育相談	演習	162	期末の筆記試験	99.4	0.6	100	37.7	61.1	1.2	0
専門	2年	幼児体育Ⅱ	演習	162	出席状況、提出課題	100	0	100	65.4	34.6	0	0
専門	2年	保育方法論	講義	161	出席状況、レポー ト課題、期末の筆 記試験	99.4	0.6	100	18.0	54.0	28.0	0
専門	2年	国語表現法	講義	162	期末の筆記試験、 提出作品	100	0	100	5.6	88.3	6.2	0
専門	2年	社会福祉Ⅱ	演習	41	レポート課題、期 末の筆記試験、口 頭発表	100	0	100	39.0	31.7	29.3	0

種別	学年	授業科目名	授業形体	履修人員	主な単位認定の方 法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
						本試	再試等	計	優	良	可	不可
専門	2年	地域福祉	講義	65	レポート課題、期 末の筆記試験	98.5	1.5	100	21.5	75.4	3.1	0
専門	2年	養護内容	演習	162	レポート提出、発表	100	0	100	92.0	8.0	0	0
専門	2年	小児保健実習	実習	162	出席状況、受講態 度、実技試験、期 末の筆記試験	99.4	0.6	100	98.1	1.2	0.6	0
専門	2年	小児栄養	演習	162	レポート提出、出 席状況	100	0	100	96.9	3.1	0	0
専門	2年	精神保健	講義	162	出席状況、レポー ト提出、筆記試験	100	0	100	87.7	11.1	1.2	0
専門	2年	乳児保育	演習	162	出席状況、筆記試験	100	0	100	48.8	51.2	0	0
専門	2年	保育内容の指導 法 遊びと言葉	演習	142	レポート、作品発 表	100	0	100	21.8	78.2	0	0
専門	2年	保育内容の指導 法 遊びと環境	演習	79	課題提出、ミニレ ポート	100	0	100	83.5	16.5	0	0
専門	2年	保育原理Ⅲ	講義	2	出席状況、ミニレ ポート	100	0	100	100	0	0	0
専門	2年	臨床心理学	演習	17	出席状況、受講態 度、期末の筆記試 験	100	0	100	100	0	0	0
専門	2年	児童文化	講義	59	期末の筆記試験、 提出作品	100	0	100	33.9	66.1	0	0

種別	学年	授業科目名	授業形体	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
						本試	再試等	計	優	良	可	不可
専門	2年	幼児音楽表現Ⅰ	演習	116	発表、ピアノ実技 試験	100	0	100	36.2	62.9	0.9	0
専門	2年	幼児音楽表現Ⅱ	演習	85	発表、ピアノ実技 試験	100	0	100	28.2	71.8	0	0
専門	2年	応用造形Ⅰ	演習	72	出席状況、提出作品	100	0	100	52.8	47.2	0	0
専門	2年	応用造形Ⅱ	演習	40	出席状況、提出作品	100	0	100	70	30	0	0
専門	2年	国語表現の研究	講義	7	提出作品、レポート	100	0	100	57.1	42.9	0	0
専門	2年	社会福祉援助技 術	演習	162	出席状況、レポー ト、発表、小テスト	100	0	100	30.2	69.8	0	0
専門	2年	幼児英語	演習	22	出席状況、実技試験	100	0	100	95.5	4.5	0	0
専門	2年	児童館の機能と 運営	講義	28	出席状況、課題提 出、授業態度	100	0	100	78.6	21.4	0	0
専門	2年	教育実習	実習	162	実習評価、提出課題	100	0	100	90.1	9.9	0	0
専門	2年	保育実習Ⅱ	実習	123	実習評価、学習態度	100	0	100	26.0	61.0	13.0	0
専門	2年	保育実習Ⅲ	実習	39	実習評価、出席状 況、レポート課題	100	0	100	56.4	43.6	0	0

(2) 学科長等がそれぞれの学科について、単位認定の方法、単位の取得状況及び担当教員による評価の現状についてどのように受け止めているかを記述して下さい。

①食物栄養科

単位の認定方法は、授業科目の授業内容及び授業形態から考えて、概ね妥当であると思われる。教養科目の中で基礎化学や生物学、情報処理入門など学科の専門に関わる科目の履修者数と比して他の教養科目の履修者数が極端に低いのが、現在の課題である。

②幼児教育科

単位の認定方法は、授業科目の授業内容及び授業形態から考えて、概ね妥当と思われる。食物栄養科と同様に、教養科目の履修者数に極端な偏りが見られること、二年次の専門科目の一部に、履修者数の少ない科目が見られることなどが、今後の課題と思われる。

(3) 学長等は、単位認定の方法、単位の取得状況及び担当教員による評価の現状について、短期大学全体の状況をどのように受け止めているかを記述して下さい。

担当教員の単位認定は、厳格に行われており、免許・資格の取得に見合った能力を修得させていると評価している。それが、高い就職率の維持に現れていると思われる。

課題は、前述したように、教養科目の履修者数に極端な偏りが見られことで、大学教育の根幹である教養教育のあり方を、今後検討を要すると考えている。

また、本学の両学科とも、取得できる免許・資格と直結している授業科目が多く配置されており、それらの単位修得状況は、高い割合となっている。それは、本学では、単位を修得するためには、規程の出席回数を充足することが条件と課されているためであると考えている。

【授業に対する学生の満足度について】

(1) 各授業について、終了後に「学生の満足度」の調査を実施していればその調査の概要を記述して下さい。

2008年度（平成20年度）の後期に実施した。専任教員の授業評価で調査した。それ以前は、平成15年度後期に実施している。調査は、原則として専任教員が担当する後期の卒業必修科目、必修科目等の履修者数の多い授業について、教え方・教材の使い方・教員の熱意・総合的な授業満足度等と教員の自己判断によって調査項目を付け加えるという形式で調査をし、各教員が学生部で集計した結果を基に自己評価を行い、それを報告書に作成し、FD委員会に提出する、というものであった。

傾向としては、ほとんどの授業が、満足度が高いという感触を得たが、残念ながら改善を要する授業も若干見られた。

(2) 担当教員が授業終了後の学生の満足度に配慮しているかについて、学科長等がどのように受け止めているかを記述して下さい。

各学科とも、担任からの情報やゼミなどでの学生とのやり取りを通して、学生の授業や学生生活への満足度について間接的ながら情報収集活動を行っており、満足度にはなにがしかの配慮をおこなっていると思われるが、今後、満足度調査を継続的に実施し、客観的な資料も踏まえて検討しなければならないと考えている。

(3) 学長等は短期大学全体の現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

現在、学生の授業に対する満足度についての統計的資料は、2008年度（平成20年度）の後期に実施した調査のみであるが、毎年実施している学生生活に関するアンケート調査から、概ね本学の教育内容には満足している傾向が読み取れる。しかし、これまで実施してきた学生生活に関するアンケート調査は、在学生全員に実施しており対象者が多いこと、また学生生活全般について質問が配置され質問項目が多岐に渡ること等の理由により集計と分析そのものが行われていないので、今後このアンケート調査の処理方法と活用について、検討しなければならないと考えている。

【退学、休学、留年等の状況について】

(1) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の退学、休学、留年等の数を、次の表を例にして学科等ごとに記載し、学科等の状況を明らかにして下さい。

食物栄養科の退学者等の一覧表

(平成21年3月31日現在)

区 分	18年度入学	19年度入学	20年度入学	備 考
入学者数	112	107	110	
うち退学者数	3 (2.7)	0	2 (1.8)	
うち休学者数	3 (2.7)	1 (0.9)	2 (1.8)	
休学者数のうち復学者	0	0	0	
うち留年者数	1 (0.9)	1 (0.9)	—	
卒業者数	109	106	—	

単位は人で、()内は%

幼児教育科の退学者等の一覧表

(平成21年3月31日現在)

区 分	18年度入学	19年度入学	20年度入学	備 考
入学者数	180	174	173	
うち退学者数	6 (3.3)	6 (3.4)	3 (1.7)	
うち休学者数	3 (1.7)	5 (2.9)	1 (0.6)	
休学者数のうち復学者	0	0	0	
うち留年者数	0	1 (0.6)	—	
卒業者数	174	168	—	

単位は人で、()内は%

(2) 退学者の退学理由割合、退学理由の最近の傾向及び退学者、休学者（復学者を含む）及び留年者に対する指導（ケア）の現状について各学科ごとに記述して下さい。

食物栄養科の退学者の理由は、平成18年度が体調不良、一身上の都合、育児で、それぞれの割合は33.3%となっている。平成19年度が無く、平成20年度が進路変更と経済的な理由で、それぞれ50%であった。休学者については、担任が連絡を取るなど、ケアに努めている。留年者についても同様に、担任がケアに努めている。

幼児教育科の退学者の理由は、平成18年度が、一身上の都合、進路変更で、それぞれ50%であった。平成19年度が、経済的理由と進路変更がそれぞれ33.3%、健康上の理由と育児（社会人入学）でそれぞれ16.7%であった。平成20年度が経済的理由が66.7%、進路変更が33.3%であった。休学者・留年者に対しては、担任が中心となりゼミの担当教員と連携してケアに当たっている。

(3) 退学、休学、留年等の現状を、学科長等がどのように受け止めているかを学科ごとに記述して下さい。

①食物栄養科

昨今の経済情勢の影響で、経済的な理由で退学する学生が若干見られが、むしろ問題なのは、入学後に不本意入学であったことが理由で進路変更等をする学生である。経済的な問題を抱えている学生は多いが、奨学金等の対応で退学に至らないケースがほとんどである。不本意入学の学生には、高校段階からの指導の問題が見られるため、指導には限界がある。

休学する学生でも、不本意入学のケースが多く、復学に至らない場合が多い。また、精神的な問題（体調不良等）を抱えて休学する学生も若干見られ、このケースも復学に至ることがない。

②幼児教育科

退学者については、食物栄養科と比較すると若干多く見られる。経済的理由や不本意入学が大半を占めている。

休学者でも、不本意入学者である場合が多く、復学に至るケースはほとんど無い。

(4) 学長等は、短期大学全体の現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

経済的な理由による退学者については、本学の奨学金のあり方を含めて、救済策を検討しなければならないと感じている。

また、不本意入学に関しては、これまで以上に、進路相談会、キャンパス見学会等で、本学への理解をさらに高め、学科の特徴を理解して志望してもらう努力を継続していくことが必要であると感じている。その第一歩として、平成20年度から岩手県の校長会に出席させてもらい、本学の紹介に努めているところである。

【資格取得の取り組みについて】

(1) 《Ⅱ教育内容》の【教育課程について】(3)(8ページ)で報告いただいた取得可能な免許・資格、また教育課程とは別に取得の機会を設けている免許・資格の取得状況(取得をめざした学生数、取得者数、取得割合)を学科等ごとに示して下さい。

《Ⅱ教育内容》の【教育課程について】(3)(8ページ)で報告した、免許・資格以外のものは特にない。

(2) 今後導入を検討している免許・資格があれば記述して下さい。

現在のところ、導入を検討している免許・資格はない。

【学生による卒業後の評価、卒業生に対する評価について】

(1) 学科等ごとに専門就職(当該学科等で学習した分野に関連する就職)の状況(専門職数、割合等)について記述して下さい。また学科等ごとに専門就職先からの卒業生に対する評価について何か文書や資料があれば参考資料として準備して下さい。

過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の専門分野への就職状況について、学科別に以下のようにまとめた。

参考資料として、求人件数、専門職求人内訳、就職状況前年対比、就職決定先業種・職種・地域別内訳表を訪問調査時に準備する。

①食物栄養科

ほぼ全員が栄養士免許を取得して卒業している。委託職員としての就職を避ける傾向があり、幼児教育科と比較すると専門職での就職者率が低くなっている。最近では、一般職の食品関係企業に就職する傾向が見受けられる。

平成18年度～平成20年度 食物栄養科の進路状況表

平成21年3月31日現在

	18年度	19年度	20年度
a 卒業者数	114人	109人	106人
b 就職希望者数 b/a	99人 86.8%	99人 90.8%	88人 83.0%
c うち専門職での就職者数 c/b	49人 49.5%	54人 54.5%	45人 51.1%
d うち専門職外での就職者数 d/b	37人 37.4%	35人 35.4%	32人 36.4%
e 就職未決定者 e/b	13人 13.1%	10人 10.1%	11人 12.5%
f 就職を希望しない者 f/a	15人 13.2%	10人 9.2%	18人 17.0%

②幼児教育科

ほぼ全員が幼稚園教諭二種免許、保育士資格を取得して卒業し、大方が専門職に就職している。少子化に加え、経済不況から働く母親が増加していることにより、保育所からの求人が幼稚園よりもはるかに多く、その結果、保育士として就職する者が多い。

専門職を希望しないものは、一般職や金融業に就職している。

幼稚園教諭一種免許を取得するために系列の4年制大学に編入する学生がいるため、食物栄養科に比べると就職しない者の割合が多くなっている。

平成18年度～平成20年度 幼児教育科の進路状況表

平成21年3月31日現在

	18年度	19年度	20年度
a 卒業者数	185人	175人	167人
b 就職希望者数 b/a	162人 87.6%	158人 90.3%	144人 86.2%
c うち専門職での 就職者数 c/b	143人 88.3%	140人 88.6%	130人 90.2%
d うち専門職外での 就職者数 d/b	13人 8.0%	10人 6.3%	6人 4.2%
e 就職未決定者 e/b	6人 3.7%	8人 5.1%	8人 5.6%
f 就職を希望しない者 f/a	23人 12.4%	17人 9.7%	23人 13.8%

(2) 卒業者に対する就職先（専門就職に限らない）及びその他の進路先（編入先等）からの評価をどのように受け止めているかについて、短期大学全体については学長等が、学科については学科長等が記述して下さい。

①短大全体

本学卒業生は、東北の地域に根ざした企業への就職が多数を占めている。「地域に貢献する教育」と「対話のある教育」という建学の精神ならびに教育理念に応じ、「大変まじめである」「一生懸命働いている」「忍耐強く努力家である」などの評価を頂いている。その証として、次年度の求人採用につながり、長期にわたって採用継続している企業も多い。

編入は、幼児教育科から本法人内の盛岡大学児童教育学科へが例年15名前後、食物栄養科から数名が同じ盛岡大学の日本文化学科、社会文化学科へ進んでいる。また、食物栄養科から他大学の管理栄養士養成課程へ数名編入している。盛岡大学からの評価は、授業にまじめに取り組む学生が多いと、好印象を持たれている。

②食物栄養科

岩手県内を中心として関東方面の企業にも採用されている。栄養士として勤務する態度は良好で、「粘り強い」「一生懸命働く」という評価を頂いている。また、専門職へ就職後3年を経て管理栄養士資格の取得を目指して、国家試験を受験する者などおり、年数名であるが合格している。

③幼児教育科

盛岡市、滝沢村近郊を中心として岩手県内および隣県の幼稚園、保育所に卒業生は採用されている。実習先巡回や事業所訪問等での採用先の評価は、勤務態度は良好、誠実で勤勉である。さらに「元気で意欲的である」「素直で明るい」「責任感が強い」などの評価を頂いている。

(3) 卒業生に対して「学生時代についてのアンケート（卒業後評価等）」等を実施している場合はその概要と結果を記述して下さい。また教育の実績や効果を確認するための卒業生との接触、同窓会等との連携等を行っている場合もその取り組みの概要と結果について記述して下さい。

「学生時代のアンケート」については、実施していない。

卒業生との接触の機会として多いのは、実習の巡回指導の折りに実習生の指導担当になっている場合などで、その際、実習生の様子はもちろんであるが、卒業生の様子などを聞く場合もある。さらに、幼稚園、保育所、事業所訪問の際には、卒業生の仕事への取り組みや職場での様子などを聞いている。評価は、前述した内容が多い。

また、同窓会との関係では、毎年行われる総会に理事長・学長・教員が参加し、懇談しながら卒業生の状況について情報を収集し、本学の教育効果に対する意見を聞いている。また、年一回発行されている同窓会便り（アネモネ会便り）に、卒業生が寄稿しており、それらの記述から、本学の教育の効果を読み取っている。

(4) 卒業生が社会からどのように評価されているか、学科長等、学長等はどのように受け止めているかを記述して下さい。

短期大学部の前身である盛岡栄養専門学校が昇格して、1964年(昭和39年)に短期大学食物栄養科を開設、2年後の1966年(昭和41年)には保育科(現幼児教育科)が開設された。以来、現在に至るまで、建学の精神のもとに個性教育、生活に根ざした教育をモットーに地域に貢献できる人材育成をめざして、栄養士、幼稚園教諭、保育士を養成してきた。

施設や病院、幼稚園や保育所等を訪問すると卒業生が現役で活躍している。これは卒業生が地域に必要とされる人材として受け入れられ、貢献していると証拠と思われる。また、毎年継続して採用を頂いている企業等も数多く、卒業生の実績、評価が認められていると認識している。

短期大学開学以来、多くの卒業生を輩出してきたが、2代目、3代目の子息、息女が入学していることも本学の実績が認められている証と思われる。